

【担当教員名】 西野幾子、山口康昭、山田まりえ		対象学年	4	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 解剖学ⅢⅠは、4年後期に実施される。既に臨床実習を全て終えているので、卒業に当たって改めて解剖学全般を振り返り、理解を確実に。特に1年次に系統別に学んだ解剖学の知識の相互関係を理解する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 全身の主な骨格・関節・靱帯の位置と特徴を説明できる。 2. 上肢・下肢の筋、神経支配の概略を説明できる。 3. 循環器系・消化器系・呼吸器系・泌尿器系・感覚器系・内分泌系を構成する諸器官の名称・位置・主な機能・特徴を説明できる。 4. 脳と全身の主な神経、および伝導路を説明できる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	骨と関節・靱帯	全身の主な骨格、関節、靱帯の概説		1	講義
2	筋学	上肢・下肢の筋、神経支配の概説とテストの実施		2	〃
3	消化器と泌尿器	消化器および泌尿器の概説とテストの実施		3	〃
4	呼吸器と循環器	呼吸器および循環器の概説とテストの実施		3	〃
5	感覚器と内分泌系	感覚器および内分泌系の概説とテストの実施		3	〃
6	脳と神経 1	脳および神経の概説とテストの実施		4	〃
7	脳と神経 2	神経および伝導路の概説とテストの実施		4	〃
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・態度、小テスト、 筆記試験の総合評価		【履修上の留意点】 毎回模擬テストを実施します。総合評価に入れますので、欠席をしないよう注意すること。 教科書は指定しませんが、必要に応じて1年次の教科書を持参すること。			